

# '13.12

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行人 兵庫県商工会連合会  
代表者 木南岩男  
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号  
☎078(371)1261(代)〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 安 平 一 志  
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第676号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成25年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲“フラワーギャラリー 花日和”の外観。和の雰囲気が温もりを感じさせる。

### Contents

#### ■ 県連合会Letter 2~3頁

- ・ 商工会幹部研修会
- ・ 商工青年同友会第2回研修会
- ・ 近畿職員協議会第2回経営支援事例発表大会
- ・ 祝 秋の叙勲・褒章

#### ■ あなたのまちの元気な企業(養父市) 4頁

#### ■ 商工会Letter 5~6頁

- ・ 第1回かみかわ商工祭 …………… (神戸町)
- ・ モロヘイヤレシビコンテスト …… (上郡町)
- ・ コラム「ひょうご支援の扉」
- ・ お茶漬処「ばあばの手づくり店」オープン …… (朝来市商工会女性部)
- ・ アンテナショップオープン …… (市川町)
- ・ 祝 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞 …………… (多可町)

和の外装で出迎えてくれるフラワーギャラリー花日和は、円山川が近くに流れる自然豊かな養父市にある。

和の雰囲気は日本人の心をどこかホッとさせる。さらに、店先はもちろん、店内は季節の花々であふれ、子どもだけではなく大人も気持ち高ぶるバルーンが飾られている。

代表の竹藤誠氏は、日本フラワーデザイナー協会講師・二級フラワー装飾技能士の資格を持ち、アレンジメントから、プリザーブドフラワーの製作、HPの管理、さらにはハバネロを使ったドレッシングや栽培用肥料の商品開発まで行っている。

(詳細は4頁)

和の雰囲気を盛り込んだ花のある暮らしを提案

フラワーギャラリー 花日和 (養父市)

# 地域経済の発展と融和を目指して

## 商工会幹部研修会を開催

県連合会は、10月22日、豊岡市「川口屋 城崎リバーサイドホテル」において、平成25年度商工会幹部研修会を開催した。

対象は県下商工会正副会長等で、約100人が参加した。

研修会に先立ち、木南会長から商工会地域の経済は依然として厳しい状況であり、大手小売店は出店増加、宅配サービスを充実させて売上の増加を図っている。こうした中で商工会は、中小小売店が生き残れるようしっかりとサポートし、大型店には

商工会地域の経済発展と融和につながるような働きかけをしてほしいと挨拶した。

続いて、兵庫県但馬県民局長岩根正氏から来賓として祝辞があり但馬地域の紹介があった。

研修会1では、東京新聞・中日新聞論説副主幹でジャーナリストの長谷川幸洋氏から「政治・経済」これからの日本を展望する」と題し、消費税増税や法人税の今後のあり方についての裏話を交え、長谷川氏の持論を展開し、今後の政治と経済について



▲ジャーナリストの長谷川幸洋氏

での興味深い話があった。

研修2では、豊岡市長の中貝宗治氏から「コウノトリと共に生きるー豊岡の挑戦ー」と題し、豊岡市や城崎の歴史を紹介しながら、豊岡市が目指すまちづくりの取組みなどについて実例を交えながらの話があり、参加者は大変熱心に聞き入っていた。

## 第2回研修会を開催

### 商工青年同友会

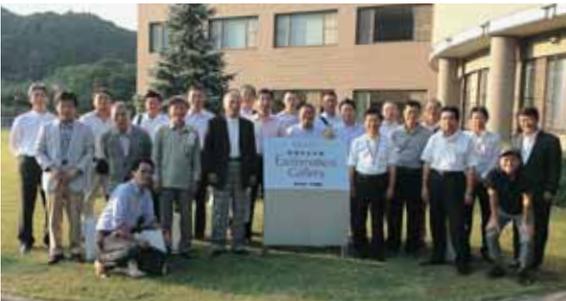
県商工青年同友会は、10月10日、第2回研修会を丹波市で開催し、23人の会員が参加した。

当日は丹波市の株式会社大地農園（代表取締役 大地 但氏・丹波市商工会会長）の企業視察を行った。

同社は生花を自然に近い姿に加工するプリザーブドフラワーを、国内で唯一、企画・開発・生産をおこなっている。

工場内は徹底した品質管理が成されており、丁寧な手作業で、美しく完成したプリザーブドフラワーと、同社で携わる従業員の丁寧な対応に、参加した会員は大変感動した。

また、同社の経営理念など、大地社長と会員による意見交換も活発に行われ、大変有意義な研修会となった。



▲大地農園にて  
(前列右から2人目 今北会長、4人目 大地社長)

平成26年1月から

### 個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方は記帳と帳簿等の保存が必要になります!!

国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>)  
詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

### 12月のこよみ

- 4日(水) 県女性連第2回幹部講習会
- 5日(木)、6日(金) 経営支援研修会(税務関連)
- 6日(金) 平成25年度簿記検定試験
- 10日(火)、11日(水) 商談会第2回企業支援事業
- 12日(木)~13日(金) 管理職養成研修会
- 13日(金) 理事会

### 1月のこよみ

- 15日(水)~16日(木) 中小企業支援力向上研修会

兵 庫 信 用 金 庫	姫 路 信 用 金 庫	播 州 信 用 金 庫	日 新 信 用 金 庫	西 兵 庫 信 用 金 庫	中 兵 庫 信 用 金 庫	但 陽 信 用 金 庫	但 馬 信 用 金 庫	神 戸 信 用 金 庫	淡 路 信 用 金 庫	尼 崎 信 用 金 庫
-------------	-------------	-------------	-------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫 ATM での入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部の ATM は除きます)



ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています



# 第2回経営支援事例発表近畿大会を 兵庫県で開催

## 兵庫県で開催

近畿ブロック商工会職員協議会（川地崇文会長）主催の第2回経営支援事例発表近畿大会が、近畿府県商工会連合会連絡協議会（木南岩男会長）共催、兵庫県・全国商工会連合会後援により、10月25日、神戸ポートピアホテルで開催された。



▲最優秀賞の奈良県代表・吉川誓司氏(奈良県商工会連合会)

当日は、近畿経済産業局他多数の来賓を迎え、近畿7府県から110人の参加があった。この大会は、経営支援事例発表全国大会の予選会の位置づけで、近畿ブロック管内商工会職員の資質向上を図るため、昨年度から実施しているもの。職員が会員事業所の課題解決に日々取り組んでいる経営支援内容を相互に発表することで、職



▲事例発表者の7人

員一人ひとりの経営支援スキルやチームワークの向上に繋げるとともに、新事業展開や販路開拓に向けた経営支援能力の強化を図ることを目的としている。発表内容については、兵庫県立大学大学院経営研究科長・教授 佐竹隆幸氏を審査委員長に、6人の委員により審査が行われ、最優秀賞には奈良県代表・県商工会連合会の吉川誓司氏、優秀賞には和歌山県代表・有田川町商工会の保田規好氏が選ばれた。最優秀

賞の吉川氏は12月9日に東京都で開催される経営支援事例発表全国大会に近畿ブロック代表として出場する。当日の発表者は次のとおり。  
(発表順・敬称略)

【大阪府・摂津市商工会】

島内 嘉紀

【京都府・井手町商工会】

野崎 幹夫

【奈良県・県商工会連合会】

吉川 誓司

【滋賀県・大津北商工会】

武内 由俊

【和歌山県・有田川町商工会】

保田 規好

【兵庫県神戸町商工会】

岸本 克己

【福井県・あわら市商工会】

南谷 真也

## 祝 秋の叙勲・褒章

平成25年秋の叙勲・褒章受章者が11月2日・3日付けて発表され、商工会関係者では神田武氏（養父市商工会会長）が旭日双光章を、奥川正之氏（吉川町商工会前会長）が黄綬褒章、小林勝弘氏（兵庫県商工青年同友会顧問）が藍綬褒章をそれぞれ3分野の功績により受章されました。



旭日双光章

神田 武氏  
(養父市商工会会長)



黄綬褒章

奥川正之氏  
(吉川町商工会前会長)



藍綬褒章

小林勝弘氏  
(兵庫県商工青年同友会顧問)

## 平成25年工業統計調査を実施します

経済産業省・兵庫県・市町では、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、工業統計調査を平成25年12月31日時点で実施します。

この調査は、工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務のある重要な調査で、調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として活用されます。

調査票に御記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することは絶対になく、秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いいたします。

## 経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

売掛金が回収できなくなった。資金ショートで連鎖倒産してしまう...

1 加入し、掛金を積み立てておけば...  
回収困難となった売掛金(被害額)相当の資金を調達できます。(最高8,000万円まで)

2 「取引先の倒産」と「商取引の事実」の  
確認で迅速に貸付実行。

3 当面の資金繰りに  
役立ち、自社と社員を  
守れます。



共済制度のお問い合わせ・お申し込みはお近くの商工会まで

掛金は損金もしくは必要経費に算入できます

自社のリスクマネジメントのひとつとしてお考えください。



●共済制度の詳細内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

経営セーフティ共済

検索

制度の運営機関：独立行政法人 中小企業基盤整備機構

TEL 050-5541-7171 (共済相談室)

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

あなたのまちの**元気な企業**

フラワーギャラリー花日和 (養父市)

くつろぎと花の暮らしを提案

木の温もりで

おもてなし

代表の竹藤誠氏は、高校卒業後工場勤務をしていたが、なんだかしっくりこない日々だった。数年後、「何か自分でやってみたい!!」と思い、母親が営んでいた花屋を継ぐことにした。

花屋を継いで、しばらくして店舗を建て替えることになった。懇意にしていた設計士に店舗の改装について相談した際に「木材を使った建物でもいいのかわか？」と聞かれた。前の建物とのギャップや、今まで自分が思っていた花屋のイメージと違うものにな



▲落ち着いた作業場

り、楽しそうだ!と思いついたのが、木材をふんだんに使った和の雰囲気でも温もりを感じる現在のお店である。

そんな和テイストの店舗に、生花だけでなく竹藤氏の作ったプリザーブドフラワーやギフト用のかわいらしいバルーンが並び、2階は作業場になっており、プリザーブドフラワーの製作を行っている。HPに掲載する写真もこの作業場で撮影が行われ、すべてが竹藤氏の手作りだ。

プリザーブドフラワーの製作は時間も手間もかかる。集中して作業しなければならぬ。集中したが、木の温もりのある作業場は落ち着いて製作に没頭できそうだ。

人との縁で商品化

花々が並ぶ店内の一角に、花屋には置いていないであろう目新しい商品がある。ハバネロのパスタソース、ハバネロの焼肉のたれ…。

これは3〜4年前から3名のグループで共同開発した新商品



▲店頭で販売しているハバネロパスタソースなど

で、以前から付き合いのあった関西大学環境都市工学部 山本秀樹教授より「養父は水もきれいで、土地もいい。この環境を使っ

て何かやってみたいなら面白いんじゃないか?」との言葉を頂き、教授の知人である食品会社に相談しながら、試行錯誤を重ね創り上げた商品だ。

ハバネロを使ったソースやたれは、辛いのが苦手な人でも食べやすく、むしろやみつきになるピリツと感が特徴で、ハバネロに含まれるカプサイシンの発汗作用はダイエット効果にも期待がもてるそうだ。

当初は種の発芽から、収穫・加工まですべての工程を自分たちの手で行っていた。ハバネロを育てるうえで発芽させるまでが難しいのだが、今ではそのノウハウを活用し福祉施設の方々に協力して頂けるまでになった。



▲国産の竹のみを使用した肥料「三大のちからA(エース)」

また、最近いろいろものを育てるのに最適な栽培用の肥料も商品化した。竹を粉碎した肥料を取り扱っていたメンバーの一人が、竹と沖繩のもろみ酢の相性がいいということを見つけた。グループのメンバーで品質改良を行い栽培用肥料「三大のちからA」を創り、店頭でプランター等、家庭菜園にも最適なサイズで販売も行っている。

実際に、この肥料をまいた土とまかない土で同時栽培をした人参を食べ比べてみると、独特の青臭さがなく甘みも多く、味の違いを実感したとのこと。

数々の商品を形にしていくうえで、多くの人との縁があってこそ、メンバーの思いが詰まった商品が出来上がったと竹藤氏は言う。

これからも花を通して

人とのつながり、笑顔をつなげる

花屋としての業務も忙しく、



▲代表の竹藤誠氏

毎年恒例であるバレエの発表会の時期は特に大忙しのようだ。孫のためにと来られるお客様にはぬいぐるみとお花、またバルーンと花束をあわせたアレンジなど、お客様の要望を聞き、購入されるお客様だけではなく受け取られる相手の笑顔のために竹藤氏は日々奮闘している。

【企業概要】

企業名/フラワーギャラリー花日和  
代表/竹藤 誠  
営業時間/8:30~19:00  
定休日/年中無休  
連絡先/〒667-0021  
養父市八鹿町八鹿1847-1  
☎079-662-3250  
HP <http://www.hana-biyori.jp/>

# 第1回 かみかわ商工祭

## 「売りまつせ、見せまつせ、おもろおまつせ」を開催

— 神河町商工会 —

神河町商工会（堀口勝久会長）は、10月27日、神河町役場前広場において「第1回かみかわ商工祭」を開催した。

このイベントは昨年まで実施した「まつせまつり」と「わっくわくぶらり市」を一本化したもの。神河町の商工業、特産品を町内外に周知することで、今後の事業展開につなげ、町の活性化の一役を担うことを目的に開催した。

当日は、会員による展示販売のほか、ステージイベントが行われ、女性部員がメイドに扮して「カーミン焼きの歌」の披露や、青年部員が「商工戦隊ゴレンジャー」を行うなど、会場は大いに盛り



▲商工戦隊ゴレンジャーが神河町の平和を守る！

あがった。

また、ふるさと広場

では「働く

車の展示」

があり、救

急車や消防

車などの展示や写真撮影会、乗

車体験もできるとあって、子供

たちは大喜びであった。

同商工会は、このイベントが

地域商工業の発展と地域活性化

につながることを期待している。



▲子どもたちは消防車に興味深々

## モロヘイヤを上郡町のブランドに レシピコンテストを実施

— 上郡町商工会 —

上郡町商工会（小河清之会長）

では、町内産モロヘイヤを使った

特産品の振興に取り組んできた

が、このことに関連して、役場と

観光協会でも「モロヘイヤを上

郡町のブランドに」と、このた

びレシピコンテストを実施した。

コンテストは、料理部門とス

イーツ部門に分かれて審査。町

内外から合わせて47点の応募が

## 企業支援とは

### 「行きます聞きます提案しますの実行から」



姫路市商工会  
志水 正 治

私が商工会に勤務してはや20  
数年。

当時は景気もよく、会員企業の経営安定と地域振興の目的で、地域イベントを数多く行い、経営環境を良くすることで会員企業に元気になってもらう支援が多かったように思う。その後、バブル崩壊、世界的金融危機リーマンショックを経て地域格差、企業格差、個人格差が見える

うちに我々商工会地域にも現れ

始め、合わせて少子高齢化、人

口減少で会員企業を取り巻く環

境は厳しさを増すばかりである。

このような状況の中、中小企

業を巡る経営課題の多様化複雑

化が進み、平成24年8月「中小

企業経営力強化支援法」が施行

され、商工会は、中小企業に対

して専門性の高い支援を行う経

営革新等支援機関の認定を受け

た。そして、国の緊急経済対策

や平成25年度事業で、地域需要

創造型等起業・創業促進補助金、

ものづくり中小企業・小規模事

業者試作開発等支援補助金と認

定支援機関の支援を必要とした

施策が次々に創設された。この  
時私は、改めて商工会の支援能  
力が問われる時が来たかと痛感し  
た。

そこで、「支援」という言葉の  
意味を改めて考えてみた。辞書  
には「力を貸し助けること」と  
記してある。私は、支援の先に  
は「自立」という目標があり、  
そこに向けて共に歩むことであ  
ると捉えている。

これから一件でも多くの充実  
した支援を行うためには、商工  
会のスローガン「行きます・聞  
きます・提案します」を実行す  
るのが一番の早道であると考え  
る。そして、支援した企業が地  
域のリーダーとなり、さらに地  
域が活性化することを願って一  
助となりたい。

女子大4年生・名田阿理紗さん  
の「なめらかモロプリン」がそ  
れぞれ最優秀賞を受賞した。ち  
なみに試食審査では、県商工会

連合会チーフアドバイザーでフー

ドコーディネーターの天野加佳

子氏が審査委員長をつとめ、講

評を行った。

同町は、昨年度からモロヘイ  
ヤの浸透をめざし、役場、商工  
会はじめJA、生産者、県立上  
郡高校、いずみ会などで構成す  
る「上郡町モロヘイヤ生産・販

売検討会」を設置。これまでに

シンボルマークの募集、「モロヘ

イヤウォーク」などのイベント

も開催した。

なお、同商工会が今年度新し

く開発した「モロヘイヤふりか

け」も好評で、限定2000袋  
が販売開始から3ヶ月で売り切  
れ間近となっている。



▲料理部門最優秀賞  
渡部桂輔さん  
「上郡ジャンジャン麺」



▲スイーツ部門最優秀賞  
名田阿理紗さん  
「なめらかモロプリン」

若手後継者等育成事業

### お茶漬け処

## 「ばあばの手づくり店」オープン

― 朝来市商工会女性部 ―

朝来市商工会女性部（伊藤明美部長）は、9月28日から空き店舗を活用してお茶漬けの専門店を期間限定でオープンした。

空き店舗を使って女性部ならではの活動で、地域活性化の一役を担えないかと検討を重ね、

空前の竹田城跡ブームの中、特に来場者が急増する9月から12月の間、訪れる観光客に朝来市や但馬の魅力をもっと知ってもらい、回遊してもらうために地域資源のPR、また情報発信の場としてお茶漬け屋さんをオープン

ンすることとなった。

使用するお米は部員のところで作っている朝来市産の新米100%。漬物もなるべく地元野菜を活用した部員の手作りのものを使っている。

また、竹田城跡以外の市内の観光スポットや地元の人だからこそ知るスポットを、パンフレットや観光客への接客の中でお伝えする。

メディアでは、計5社の新聞の地域版や、毎日放送の情報番組「ちちんぷいぷい」（11月6日



▲竹田城跡を眺めながら、熱々のだし茶漬けを食べに来てください。

放送分)でも取り上げられた。

お店は12月7日までの金・土・日・祝の昼間、部員が交代で運営する。



▲アンテナショップによるこそ。

## 愛からはじまる♡のまちIchikawa アンテナショップをオープン

― 市川町商工会 ―

市川町商工会（中川俊昭会長）は、町のPRや特産販売を目的としてアンテナショップをオープンした。

場所は同町西川辺の飲食店「おいでおいで」の駐車場の一角。播但連絡道路の市川南ランプに

近いため、観光客へのPRなど、観光案内所としての役割も担っている。

取り扱う商品は、同商工会が一昨年、地域活力増進事業で開発した「かしわめしの具」や、町花のひまわりにちなんだクツ



## 祝 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞

### 多可町の会員企業が 中小企業片長官賞を受賞の快挙!

足立織物株式会社（多可町）は、全国の中小企業による製品開発の中から、特に優れていると認められるデザインに対して贈られる「グッドデザイン・ものづくりデザイン賞」を受賞した。

◆足立織物株式会社（多可町）  
受賞対象名：非常用圧縮毛布 [EB-201]

東日本大震災で、首都圏で多くの帰宅困難者が出たことから、「いざというときにすぐに使える毛布が必要」と思ったのが開発のきっかけ。

同社独自の真空圧縮技術を応用し、通常サイズの毛布を厚さ3.5cmに圧縮。真空パックしたうえでA4の箱に納めており、コンパクトで机の中や本棚に備蓄できる。手軽に備えられるようにデザインが機能していることが受賞の理由。

阪神間の大手書店の防災関連書籍コーナーでも販売。予想以上の売行きに、今後は他の地域の書店や雑貨店でも取扱いの予定。

多可町商工会の支援により、今年3月に経営革新計画の承認を受け、今年度は大谷芳弘チーフアドバイザーによるプレスリリースの指導を受けて販路開拓を目指している。

【連絡先】足立織物株式会社 ☎0795-25-0080 FAX0795-25-0081  
URL <http://www.atec1945.co.jp/>



▲A4に圧縮された毛布。開封するとふわふわに。



▲人気「ひまりん焼き」をどうぞ。

キーやアイスなど、町内企業による特産品が中心。中でも、町の公式キャラクター「ひまりん」をかたどった「ひまりん焼き」は大人気商品で、新しいご当地スイーツとして静かなブームとなっている。

同商工会の中川会長は、「これまで市内に土産物を扱う店がなかった。地元の人に他所への使

い物を買ってもらったり、観光客や立寄り客にいちかわの魅力を伝える情報発信基地にしたい」と意気込みを語った。